

ココタウンデイサービスセンター

症 例 概 要 利 用 者：80代 女性 要支援2
利用期間：平成 2年 12月 ～ 令和 5年 8月

経 過：昭和53年に転居してきてから、公民館で社会教育指導員の仕事や、お子様の学校役員をされたり、趣味のグランドゴルフや旅行も奥さん友達と積極的に活動されていました。2019年に旦那様が他界され、それから1ヶ月もしないうちに脊柱管狭窄症になり手術をしてから、歩行をはじめ日常生活にも支障出てしまい、外出やコミュニケーションが減ったことからデイサービスの利用が開始となる。

内 容

利用当初は元気もなく歩行も付き添いながら、腰の痛みなどから辛そうな表情をされておりました。数か月デイサービスに通うようになってからはすっかりと慣れ、特にご自宅では面倒としていた入浴も気持ちが良いと毎回来るのが楽しみになり、次第にコミュニケーションも弾み腰の痛みの訴えは減っていききました。

しかし、令和3年4月頃から特に下肢の浮腫が酷くなり、紫色へと酷く反転していききました。看護師にて塗り薬やテーピングを実施していききましたが、数か月後には更に左足甲と脛脛へと潰瘍ができてしまい、痛みからか昼食後は横になる事も多くなり、段々元気もなく辛そうな表情が多くなってきました。ご本人と相談し傷の治療を含め下肢の状態改善を一緒に支援させて頂くことをお伝えしました。

支援が始まると看護師にて医療面のアドバイスをはじめ入浴後の処置を継続的に続けました。介護では皆で話し合い昼食の栄養面や足浴にマッサージ、ミニバイクを使用した代謝促進を勧めていきました。

親身な対応を続け現在では下肢状態が改善され大変喜ばれております。これからもご本人に寄り添える介護、看護とご本人が笑顔で安心できる場を作れるようにスタッフ一同努めて参ります。